

平成 17 年 5 月 30 日

各 位

会社名 株式会社 住友倉庫
代表者名 社長 安部 正一
(コード番号 9303 東証・大証第 1 部)
問合せ先 取締役経理部長 鶴野文生
(TEL 06-6581-1183)

住友倉庫グループ中期経営計画「経営戦略 2010」の策定について

株式会社住友倉庫（以下、住友倉庫）は、明治 32 年（1899 年）の創業以来今日に至るまで、堅実な経営を実践してまいりました。今後、住友倉庫グループが物流事業と不動産事業を両輪としつつ一段と飛躍するため、平成 18 年度（2006 年度）から平成 22 年度（2010 年度）までの中期経営計画「経営戦略 2010」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

1. グループ経営ビジョン

住友倉庫グループは、「物流と不動産のソリューション・プロバイダー」として、お客様の新たな価値創造を、物流面からサポートするとともに、長期的視点に基づく良質な不動産開発を推進してまいります。

これらにより、企業価値の最大化を図り、株主・投資家の皆様のご期待にお応えするとともに、経済の成長と地域発展による社会価値の増大に貢献してまいります。

(1) ソリューション志向の徹底

お客様のサプライチェーン全体の最適化に向け、グローバルな視点から、ハードとソフトを効果的に組み合わせた物流効率化を提案し実現する、「ソリューション志向」を更に徹底します。

(2) 事業間のシナジーを活かした資産の最適活用

物流事業と不動産事業のシナジーが最大限に発揮されるよう、長期的な視点に基づいて不動産の最適な活用を追求します。

2. 計画期間および経営目標

本中期経営計画は、平成 18 年度を開始年度、平成 22 年度を最終年度とする 5 か年計画とします。

	平成 17 年度予想 (計画前年度)	平成 20 年度目標 (3 年目)	平成 22 年度目標 (最終年度)
連結営業収益	1,020 億円	1,180 億円	1,300 億円
連結営業利益	55 億円	80 億円	110 億円
ROE	3.8%	5.3%	6.2%

3. 重点戦略

(1) 強みを融合した最適ソリューションの提供

「サプライチェーン全体の在庫管理能力」、「倉庫・コンテナターミナルなどの国内外の物流インフラ」、「グローバルな物流の構築・運営能力」など、住友倉庫グループの強みを融合し、お客様にとっての最適なソリューション提供に一層注力します。

配送センター業務の強化

お客様の情報システムとのネットワーク化の推進

最適ソリューションの立案・遂行能力を一段と強化するための組織・業務体制の再編

(2) 中国・東南アジアをはじめとした海外ビジネスの拡充

企業活動が生産・販売ともにグローバル化しており、サプライチェーンのなかで海外、とりわけ中国・東南アジアの重要性が、より増していくものと考えられます。

住友倉庫グループは、中国・東南アジアをはじめとする国際物流ネットワークを強化し、欧米などの既存拠点とも連携した海外ビジネスを更に拡充します。

中国沿海部を中心に、アジアや東欧などにおける海外拠点の新設

今後も増加することが見込まれる中国・東南アジアと欧米間の輸送など、海外間物流サービスへの一層の注力

メーカーの部品調達物流を代行する VMI (Vendor Managed Inventory) 倉庫事業など、情報技術を駆使したグローバルな物流サービスの強化

(3) 保有資産の最適活用

経済情勢や環境の変化に対応して、保有資産および新規取得資産の最適な活用を図り、資産効率の向上に努めます。

不動産物件については、物流事業と不動産事業とのシナジー効果が最大限に発揮できるよう、立地条件に応じて、お客様にとって最適な物流施設、商業施設、賃貸ビルや住宅などの開発を推進します。

首都圏への重点投資による倉庫施設の再配置
物流施設や商業施設など、不動産開発の推進

(4) 経営基盤の強化など

経営基盤をより強固にするとともに、株主還元の充実に努めます。

コーポレート・ガバナンスの一層の整備による公正かつ透明な経営の推進
コンプライアンス経営の実践とリスクマネジメントの強化

以 上